様式３(2015.06改)

作成日　令和元年６月１日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393100199
事業所名	グループホームこころくばり

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	開設後まだ一年に満たない。町内会には未加入であるが同建物内に訪問介護事業所もあり、地域の中学生の訪問やボランティアの受け入れを積極的に行っている。又住民の交流の場として施設の利用をしてもらっている。、子供110番は受けていない。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	会議は二か月に一回開催されている。行政や地域の民生委員、町内会長、入居者家族の他に包括支援センター職員が参加している。グループホーム以外に看護小規模多機能型居宅介護、介護老人福祉施設と合同で開催している。会議に参加することで地域や行政と情報交換をしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	推進会議に参加してもらって相談や情報を得ている。その他に重要な情報は法人を通して知ることができる。	×
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	家族会はまだ発足していない。定期的なホーム便りも発行していない。家族との連絡は推進会議か連絡必要時個々に対応している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		×

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	―	―	―	―	―	―	―	―	―	×	